



副校長 福井 伸人

毎日の安全

大寒に入り寒さが身にしみるようになりました。それでも毎日、少しずつ朝日が昇る時刻が早まり、ほのかな希望が感じられます。1月に学校が再開するとすぐにコロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令され、行事の見直し、一層の感染症対策が求められるようになりました。令和2年度も残すところ、2か月となりました。本年度は4、5月が臨時休校でスタートし、いつもより短い課業期間になりました。それでも、子どもたちに身につけさせたい資質・能力をしっかり定着させられるよう、学習内容を精選して教育活動を行ってまいりました。まだまだ見通しのつかない状況ではありますが、2か月間、最後までできることを最大限にやっというと思っています。ご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、先日の朝会で、毎朝の登校について話をしました。本校では、登校班で登校しています。子どもたちが決められた時刻に、まとまって登校することで安全が守られていることが実感できます。当たり前だと思っている子どもたちもいるかもしれません。しかし、それはとても貴重で、恵まれていることだと伝えました。

登校班はPTAの登校班係の方が編制してくれています。各地区で学年のバランスを考えて班を作ってくれています。また、地域の方やみまもり隊の方々は毎朝、各所に立ち、子どもたちの安全を守ってくれています。寒さが厳しい中で、朝の見守りに立つことは決して楽なことではないはずですが、それでも、子どもたちの安全を守ることを大事なことだと考え、笑顔で子どもたちを見守ってくださることに、心より感謝申し上げます。

そして、子どもたちには、自分たちも、安全に気を付ける意識をもつ大切さを伝えました。毎日の安全は守ってもらうものではなく、自分たちでつくるものだと話しました。一人一人の安全に対する意識が高まれば、毎日の安全が確かなものになります。ご家庭におかれましても、毎日の登下校についてお子様とお話する機会をもっていただき、お子様が登下校の安全を意識できるようにしていただくとありがたいです。下校については、登校班ではないので、やや気持ちも緩みがちです。おしゃべりに夢中になり広がって歩いたり、友達とふざけ合って走ったりなどしないよう、ぜひ、お声かけいただくようお願いいたします。

